

オンラインも活用

市民との対話から

市政の課題探る



令和3年11月13日、令和3年2回目となる「議員と語り合う現在と未来～市民との意見交換会～」を市役所議会棟やオンラインを用いて開催しました。広報紙等の案内を見て参加された方や、呼び掛けに応じた自主防災会の方々など、市内外から合計40人が参加し、活発な意見交換を行いました。

今回の意見交換会も前回と同様に2部制で行い、第1部は、11のグループに参加者が分かれて「防災」をテーマにして話し合いました。第2部は引き続き11のグループで、テーマを絞らずに意見交換を行いました。

今回頂いた要望・意見等については、2年任期の委員会の構成が新しくなった後（令和4年2月15日）に調査を行う予定です。



参加者の78%が「良い」以上 実施アンケート

◇とても良い

- ・初めてだが、いろいろと知ることができた。
- ・地域ごとの問題点、対策等の意見を活発に聞くことができ、有意義だった。

◇良い

- ・いかに市政に反映させるか。

◇普通

- ・実行されればよいと思う。

◇とても悪い

- ・議題と討議内容を洗練する必要がある。



討論

第4回定例会で審議された議案・請願に対する討論の概要をお伝えいたします。
議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

市長提出議案

国民健康保険税条例の一部改正…可決

〔内容〕「所得割・均等割・平等割」の3方式から「所得割・均等割」の2方式の賦課方式への変更など

久保田議員…市は基金を使って国民健康保険加入者に負担がないように工夫されるとのこと。これからの努力に期待。賛成。

遠山議員…福祉厚生常任委員会から市長に対し、基金拠出を求める要望書を提出し、国保運営協議会でも承認された。また、執行部から保険税額の引下げが明確に示され、委員会からの要望内容にも取り組むことが説明された。賛成。

令和3年度一般会計補正予算(第12号)…可決

〔内容〕ふじしろ図書館空調設備改修事業、ふるさと取手応援寄附金推進事業の増額、障がい者自立支援給付費等の扶助費の増額など

根岸議員…LED防犯灯リース事業は、電気料金大幅値上げへの対応、二酸化炭素排出抑制への寄与といった大きな成果が出ている。また、ウェブカメラとモバイルWi-Fiルーターの購入は、教育格差の是正や、特に不登校や行き渋りのお子さんへの活用を期待。賛成。

佐藤議員…ふじしろ図書館の空調設備の改修工事は利用者にも及ぼす影響をできるだけ少なくなるよう配慮されている。わくわく取手生活実現事業については、今後の市政運営において移住者が中長期的に住み続けたい町であることが重要であり、一層の努力を期待。賛成。

落合議員…あいサポート運動事業は、障がいのあるなしにかかわらず誰もが暮らしやすい社会をみんなでつくっていく運動であり、全国に着実に広がっている。市においても茨城県で初となる「あいサポート運動」が来年からスタートする。この運動が広がることを期待。賛成。

議員提出議案

文書通信交通滞在費及び政党交付金の廃止並びに立法事務費の充実を求める意見書…否決 (提出議員…細谷 ほか1人)

〔内容〕文書通信交通滞在費及び政党交付金の廃止、立法事務費の用途の明確化・充実

加増議員…政治と金の問題の大本を正すためにも政党交付金の廃止に賛成。

細谷議員…支出していることに反対してわけではない。税金で負担する国会議員の活動が適切かどうかを、文通費問題から総点検することは意味のあること。賛成。

👆 上記の意見書は否決されましたが、3ページの議決結果に掲載したとおり、「文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度見直しを求める意見書」を可決し、国に対して提出しました。

請願

請願不採択の場合、理由を明文化することを求める請願…不採択

(提出者…小矢勝義 紹介議員…根岸)

根岸議員…請願者の本意は不採択の理由を明文化できるだけの議論・意思表示を求めていると理解する。表決までの議論のプロセスが市民に十分に伝わっていないことは私たち議員の力不足と考える。賛成。

赤羽議員…請願には紹介議員がおり、議決後も請願者とコンタクトを取ることも役目。また、会議規則に、請願は採択すべきもの、不採択とすべきもの、このいずれかに議会が議決するものであり、取手市議会は賛否両論で十分に議論している。反対。

小池議員…もし反対討論がなかった場合において、議事録にないことを明文化することはできない。反対。

取手市議会だより「ひびき」の議案賛否表記の変更を求める請願…不採択

(提出者…小矢勝義 紹介議員…根岸)

〔内容〕議案賛否表記の会派表記をやめて個人名表記とすること、個人名表記は議席番号順とすることなど

根岸議員…市民は会派に投票するのではなく、議員個人に投票している。そのことから考えると、会派よりも個人が優先されるべき。試験的に取り入れて市民の反応を見る価値はある。賛成。

赤羽議員…投票は、個人に対してするものであって、政党や政治団体に対して投票するのではないという発言があったが、どこの会派に属しているかも、選択する上での重要な情報になる。反対。

小池議員…賛否結果の表記については、分かりやすい表記が必要だと考えるので、これまでどおりの表記でよい。反対。

「気候危機回避のため原発に頼らず再生可能エネルギーを柱とした脱炭素社会を目指す意見書」を国に提出することを求める請願…採択

(提出者…河村敬子ほか321人 紹介議員…根岸ほか1人)

根岸議員…請願者は、未来の地球環境に対して危機感を持っており、自分事として、自分の子や孫にどんな未来を渡していくか真剣に向き合っている。それに応えるのは、直接政治に関わる私たちの責務。賛成。

関戸議員…人類をはじめ地球上の多くの生命にとって温暖化を止めることは、まさに死活問題。若者や子どもたちに安心の社会を引き渡すためにも、再生エネルギーを柱にした社会の実現を目指すよう求める必要がある。賛成。

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

取手市議会だより「ひびき」第240号
(令和4年1月15日発行) 一般質問ページへのQRコード



令和3年第4回臨時会・第4回定例会の議決結果

賛否の分かれたもの

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表します。
議長(齋藤久代議員)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

開催別	種別	議案名称	議決結果	賛否数		会派名、議員名及び賛否の別																							
				賛成	反対	創和会					みらい					公明党		共産党		無ク									
						海東	鈴木	小堤	岩澤	佐藤	結城	赤羽	金澤	須田	関川	石井	入江	山野井	久保田	落合	染谷	齋藤	小池	遠山	加増	関戸	根岸	細谷	
定例会	市長提出	市営住宅条例の一部改正	可決	18	4																								
		一般会計補正予算(第14号)	可決	21	1																						×	○	
	議員提出	オンライン本会議の実現に必要なとなる地方自治法改正を求める意見書	可決	18	4																								
		文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度見直しを求める意見書	可決	16	6																								×
		文書通信交通滞在費及び政党交付金の廃止並びに立法事務費の充実を求める意見書	否決	6	16																								○
	請願	請願不採択の場合、理由を明文化することを求める請願	不採択	2	20																								
取手市議会だより「ひびき」の議案賛否表記の変更を求める請願-会派毎の表記をやめて、個人名表記へ変更する-																													

全員賛成したもの

会派 無ク：無会派クラブ

<第4回臨時会> ●市長提出議案(可決) 一般会計補正予算(第11号)

<第4回定例会> ●市長提出議案(可決) 福祉会館・市民会館・障害者福祉センターつつじ園・障害者福祉センターふじしろ、それぞれの設置及び管理に関する条例の一部改正、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例・国民健康保険条例・国民健康保険税条例・手数料条例それぞれの一部改正、市道路線の認定・変更・廃止、指定管理者の指定8件、一般会計補正予算(第12号)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)、後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第2号)、一般会計補正予算(第13号)・(第15号)

●意見書(可決) 気候危機回避のため原発に頼らず再生可能エネルギーを柱とした脱炭素社会を目指す意見書

●請願(採択) 「気候危機回避のため原発に頼らず再生可能エネルギーを柱とした脱炭素社会を目指す意見書」を国に提出することを求める請願

オンライン本会議の実現を求める ~滋賀県大津市議会と連携~

第4回定例会で可決した「オンライン本会議の実現に必要なとなる地方自治法改正を求める意見書」(提出者:落合議員ほか6人)を国に提出しました。コロナ禍の中で、会議室に集まることなく、議会としての機能を維持していく手法として、取手市議会ではICTを活用して、オンラインで委員会などの会議を行いました。しかし、本会議をオンラインで行うためには、地方自治法の改正が欠かせません。そこで、国に法改正を求める意見書を賛成多数で可決しました。

意見書提出に先立って、滋賀県大津市議会の桐田議長、清水議会局長が取手市議会に来庁された際、地方自治法改正の実現に向けて、同時期に同趣旨の意見書を提出することについて依頼があり、この意見書の提出に至りました。取手市議会は、昨年6月に「議会改革度調査ランキング2020」で全国第1位となりましたが、大津市議会も2015年から4年連続第1位を受賞している先進的な議会です。



左から2番目が齋藤取手市議会議長、3番目が桐田大津市議会議長、4番目が清水議会局長

取手市議会の軌跡～令和3年の活動～

4月28日

音声テック 関連技術連携協定を締結

ICT化による業務効率化、技術開発をともに目指す協定が、株式会社アドバンスト・メディアと取手市議会・取手市の3者によって締結されました。この協定により、鮮明な会議映像にリアルタイムで字幕表示が可能に。聴覚障がいがある方や傍聴者への会議情報の見える化としても向上しました。



YouTube配信映像に表示された字幕

6月10日

オンライン委員会で採決を可能に

令和3年第2回定例会では、オンライン委員会にて、討論・採決を行うことができるようにする市議会会議規則の改正が行われました。これまでオンライン委員会を積み重ね



オンライン委員会での採決画面

てきたこと、タブレットによる採決システムを導入したことによって、オンラインでも安定して討論・採決を行うことができる判断のため改正に至りました。

11月12日

マニフェスト大賞・優秀賞受賞& 受賞者プレゼンテーション1位!

取手市議会・議会事務局連名にてマニフェスト推進賞の議会部門で優秀賞を受賞。また、マニフェスト大賞「受賞者の先進事例の取り組みを学ぶ研修会」では、2年連続でプレゼンテーション第1位を受賞しました。

今回の受賞は、議員・議会事務局がチーム議会と、議会愛をもって活動してきた、まさに取手市議会の特徴を体現する形での受賞となりました。

プレゼンテーションは報道番組仕立て! 映像はこちらからご覧ください!



令和3年は、取手市議会が議会改革を進める上で躍進の年となりました。数多くの取り組みを行ってきた中で、特に大きな一歩となったものをご紹介します!

6月1日

全国総合1位! 議会改革度ランキング

取手市議会は、「議会改革度調査2020」において、全国総合第1位となりました。これは早稲田大学マニフェスト研究所が、毎年、全地方公共団体議会を対象に、前年1年間の議会活動を調査し、ランキングにして公表しているものです。これまでの議会改革推進のほか、コロナ禍の中、オンラインビデオ会議システムやICTを早期に活用し、議会の機能を維持・向上したことが評価されました。



ランキング1位が発表され歓声上がる議場

8月26日

市民によるオンライン会議録作成

住民参加の議会の形を模索し、議会への関心を高める目的で、市内の高校生2人を含む11人が自宅等から、議会運営委員会の会議録初稿作成に参加。これは、協定を結んだアドバンスト・メディア社のクラウド型音声文字起こしサービスを使って、オンラインでどこからでもリアルタイムの会議録作成作業に参加できることから実現が可能になったものです。



参加した高校生

